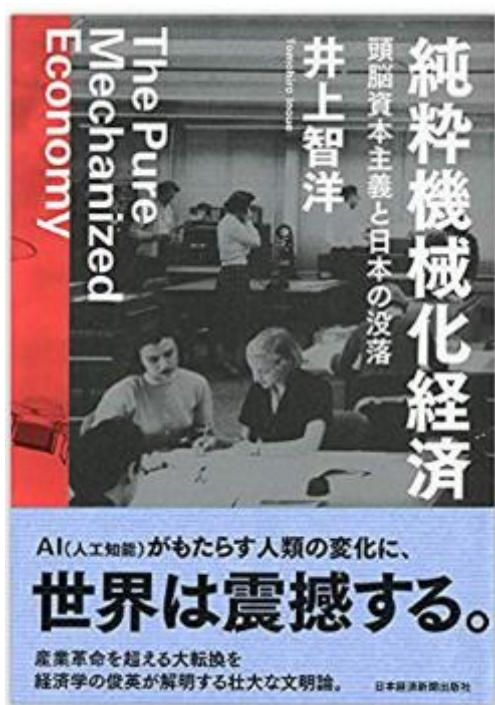


AI（人工知能）を包含する Embedded Knowledge（埋め込み知）という視点（投稿）  
第16回 新産業革命に最も精通した国内の知識理論、井上智洋氏の「純粋機械化経済」

（本学会海外担当理事 山崎秀夫）

純粋機械化経済 頭脳資本主義と日本の没落



2020年1月初、NHKの日曜討論の最初に登場した安倍首相が2020年における大きな課題として開口一番述べたのが「第四次産業革命、金融のフィンテックとEV、自動運転などの自動車産業の変化対応」でした。2019年は天皇の交代とそれに伴う改元もあり、その結果「スーパーシティ法案」などの成立が1年遅れた年でした。しかし2020年は東京オリンピックの年でもあり、安倍首相も攻めの姿勢を見せているようです。

その中で伝統的な経済学や経営学（経営論や産業論）の枠を超え、現在注目されているのが駒沢大准教授の井上智洋さんです。（AI社会論研究会の共同発起人）彼の書いた文明史の視点による経営論、「純粋機械化経済 頭脳資本主義と日本の没落」は知識経営論としては新しい産業革命に最も精通した作品とすることができます。特にイスラエルのユバル・ノア・ハラリの視点も最もよく理解し、初めて機械が獲得した知性であるAI（人工知

能)の恐ろしい力とAIによる知識労働の置き換えや情報監視社会到来の可能性、大量失業の問題、ホモデウス型の知識ワーカーの到来などを述べています。特に新しい産業革命の到来を「新石器時代の大分岐」と日本がアジアの中で抜け出した「工業化時代の大分岐」に続く「AI時代の大分岐」と呼び国や社会が衰えるか再度、栄えるかの分岐点に立っているという見方をしています。

「AI(人工知能)とはいかなる技術で、どこまで人間の知的振る舞いを真似ることができるのか、どのように人類の労働と社会構造を変化させるのか、爆発的な経済成長の始まりとは何か、人々が豊かになるには国家が何をなすべきなのか、日本はどのような運命をたどるのか―。初めて知性を獲得した「機械」が持つ巨大な力の正体を明らかにし、その哲学的な意味や経済的・社会的な影響について多角的に解明する骨太の文明・経済論。」という触れ込みです。

安倍政権の働き方改革の中で「兼業・副業」が本格的に解禁され、カール・マルクスが共産主義成立の為の社会課題とした「労働力の商品化、雇われ雇われると言う働き方」が衰退し、ギグワーカーと呼ばれる雇われない働き方が台頭するとされています。(国内では終身雇用制＝メンバーシップ制の崩壊がその一歩)彼らは労働力の商品化ではなく、労働は自己が保持し、サービスを提供する働き方をしていると考えられます。面白いのは雇われる働き方の給与分布(所得分布)は釣り鐘状の正規分布になっていたのが、タレントやフリーランスの記者のような雇われない働き方が主流になる時代には、右肩下がりの所得分布(スポーツ選手やタレント業に代表されるような少数の人々がとてつもなく稼ぎ、大多数の人々はわずかな所得にあえぐ所得分布)になると予測している点でしょう。そういった傾向がアメリカなどでは既に「中産階級の崩壊による豊かな社会の崩壊やトランプ現象」として立ち現れていると考えられます。井上準教授の理論はトランプ現象やブレイクシット現象を見事に説明しています。

さて知識社会学の最も基本となる見方(埋め込み知論)は「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」(マックス・ウェーバー)から来ています。これは宗教改革を推し進めたプロテスタントの運動が、その中に後の工場労働を促進する「禁欲労働の倫理観や文化を持っている」とされていました。これは決められた時間から決められた時間まで繰り返し働くような禁欲労働が行えることが死後に天国に召される、選ばれしものの証拠であると言ったカルビン派の主張に代表的に見られます。またプロテスタント運動の中からはピューリタンに代表される教会(聖なる天蓋)の外での社会契約としての祈りの夕べなどが組織され、市民社会を形成する「市民としての個の自律を促した」と言われています。

「ホモデウス」や「サピエンス史」を書いたイスラエルのユバル・ノア・ハラリは「ロシアの共産主義運動は電力ネットワークや工場制度をよく理解しており、その為の後のソビエトによる産業革命で成功を収めた。」と述べています。同じことは日本の「尊王攘夷運動」にも当てはまると思います。一見、古い天皇制度を復活させて排外主義を唱える傍ら吉田松陰などはナポレオンの再来を夢見て居たと言われており、彼らは蒸気船や陸蒸気と呼ばれた鉄道を積極的に受け入れる文化を持っていました。逆にハラリは「イスラム国を打ち立てた IS や中国の太平天国運動は、その運動の中に産業革命や新しい産業革命を理解する要素がなかった」と述べています。これは明らかに埋め込み知の視点であり、井上准教授も経営論にもつながります。

私自身は様々な KM 理論にも同じことが当てはまると考えています。果たして様々な KM 理論は新しい産業を促進することができるのでしょうか？ 一体、どの KM 理論がインダストリー4.0 やソサイエティ 5.0 と相性が良く、どの理論の相性が悪いのでしょうか。先日のソーシャルメディア部会でもこの点が話題になり、発表者の吉田さんは「SOOOモデルは大量生産・大量消費時代に最もふさわしかった理論」とおっしゃっていたのが印象的でした。

では海外の KM 学会はどうでしょうか？

2020 年の 2 月に行われ、筆者も参加した香港 KM 学会と KMGN 共催の KM 大会のテーマは「Exploring Smart Technology-Led Transformation and Innovation」となっており、香港の学会も KM 運動を新しい産業革命に適応させようと必死で働きかけています。2018 年の台湾の大会も同様に AI が大きなテーマでした。香港の講演テーマをみると以下のような内容が並んでおり、まるで AI 学会の大会かと誤解を生むほど新産業革命に傾斜しています。まあ、彼らは日頃から「ナレッジクラウドとかナレッジ・アズアサービス」などとマントラを唱えていましたから。

一言で申し上げれば海外の KM 学会は皆、デジタルトランスフォーメーションを日常的なテーマにしていると言うことですね。KM理論をインダストリー4.0 に適応させないと KM 運動自体が衰退します。（埋め込み知論の視点から見るとそうなります。）

やっぱり井上准教授のようなタイプの方を KM 学会に招待してリーダーシップをお願いすべき時代なのではないでしょうか？

香港の国内講演 午前中の部

9:45 AM **Keynote speeches**

**How artificial intelligence and cloud can fuel digital transformation in businesses?**

*Ms Lucy Werner, Head of Cloud, Google*

---

**Planning of a smart hospital**

*Dr Hong Fung, Executive Director and Chief Executive Officer, Chinese University of Hong Kong Medical Centre*

---

**ProTech: Integration of information technology in building projects**

*Mr Jeff Tung, Senior Project Director, New World Development Company Limited*

10:55 AM **Break**

11:20 AM **Keynote speech**

**Rewiring our brain to exploit collaboration, innovation and learning in the age of digitalisation**

*Prof. Eric Tsui, Knowledge and Innovation Research Centre, Hong Kong Polytechnic University*

11:45 PM **Interactive workshop**

**Exploring the winning recipes of knowledge management programme**

*Dr Ricky Tsui, East Asia Research and Development Director, Arup*

12:30 PM **Luncheon**

香港海外招待者講演 午前中の部

09.00 am Welcome from the Organisers

Les Hales - President of HKKMS & Prof. Eric Tsui – Professor, The Hong Kong Polytechnic University AND Vice-President HKKMS

9.15am -10.30 am Keynote presentations I & II

**KM and organizational transformation**

**I :- Digital Transformation : Navigating the Journey**

*Speaker : Euan Semple ( 1<sup>st</sup> KM manager at the BBC) ,UK*

**II :- The Role of KM in Organisational Culture, Agility and Resilience**

*Speaker: Professor Dave Snowden Cognitive Edge ,UK*

10.30am – 11.00am COFFEE AND NETWORKING BREAK

11.00am – 12.30pm Keynote presentations III & IV

**KM and AI**

**III :- Applying AI to Language**

*Speaker : Dion Wiggins , Omniscien , Thailand*

**IV :- Computer Vision and AI**

*Speaker: Niall Dorr imagedeep , HK*

12.30pm – 2.00pm

以上